

平成15年11月26日
原子力安全対策課
(15-93)
<10時資料配付>

大飯発電所2号機の新燃料輸送について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所2号機(加圧水型軽水炉; 定格電気出力117.5万kW)は、本日、新燃料集合体32体を受け入れた。

1. 輸送年月日

平成15年11月25日 6時40分	三菱原子燃料株式会社	発
	(茨城県那珂郡東海村)	
平成15年11月26日 7時00分	大飯発電所	着

2. 輸送数量等

新燃料集合体	32体
輸送容器	16個

3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

4. 輸送方法

陸上輸送

問い合わせ先(担当:山本) 内線2353・直通0776(20)0314
--

「輸送における安全性について」

1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

2. 輸送容器の概要

型式 ; MFC-1型・・・16個

形状 ; 円筒形

寸法 ; 長さ約5m、外径約1m

重量 ; 約4.2トン（輸送容器だけで約2.8トン）

材質 ; 鋼鉄製

3. 輸送物の安全確認

本輸送物（A型核分裂性輸送物）については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、独立行政法人 原子力安全基盤機構により確認されたものです。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両の積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防・警察・自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置を取ることにしており、十分な安全対策が講じられることとなっております。

『A型核分裂性輸送物の安全基準』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条の2に基づき国が定めている『A型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

①線量当量率

表面で、	2	ミリシーベルト/時以下
表面から1 m離れた位置で、	0.1	ミリシーベルト/時以下

②表面密度限度

α 線を放出する放射性物質の場合、	0.4	ベクレル/cm ² 以下
α 線を放出しない放射性物質の場合、	4	ベクレル/cm ² 以下

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

①一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

②特別の試験条件

9 m落下試験、棒上の1 m落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することになっている。